

5. サービス業の動向

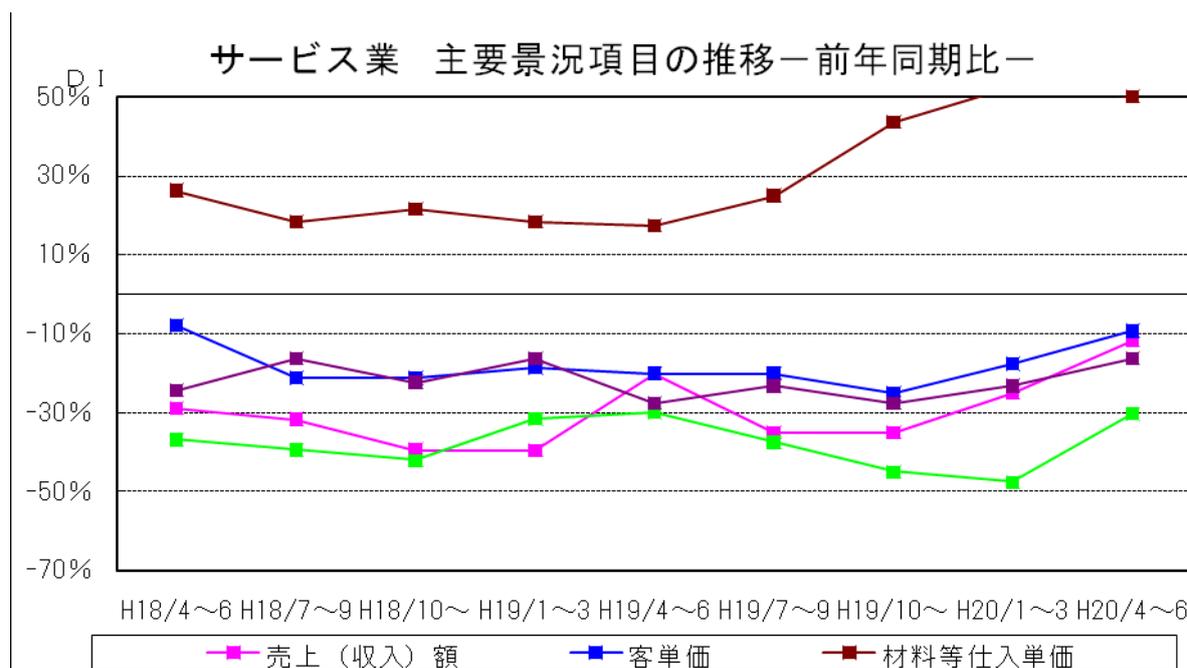
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス26.2。前期マイナス28.2から2.0ポイント上昇、やや回復。来期見通しはマイナス38.1と大幅な悪化の見込み。



サービス業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

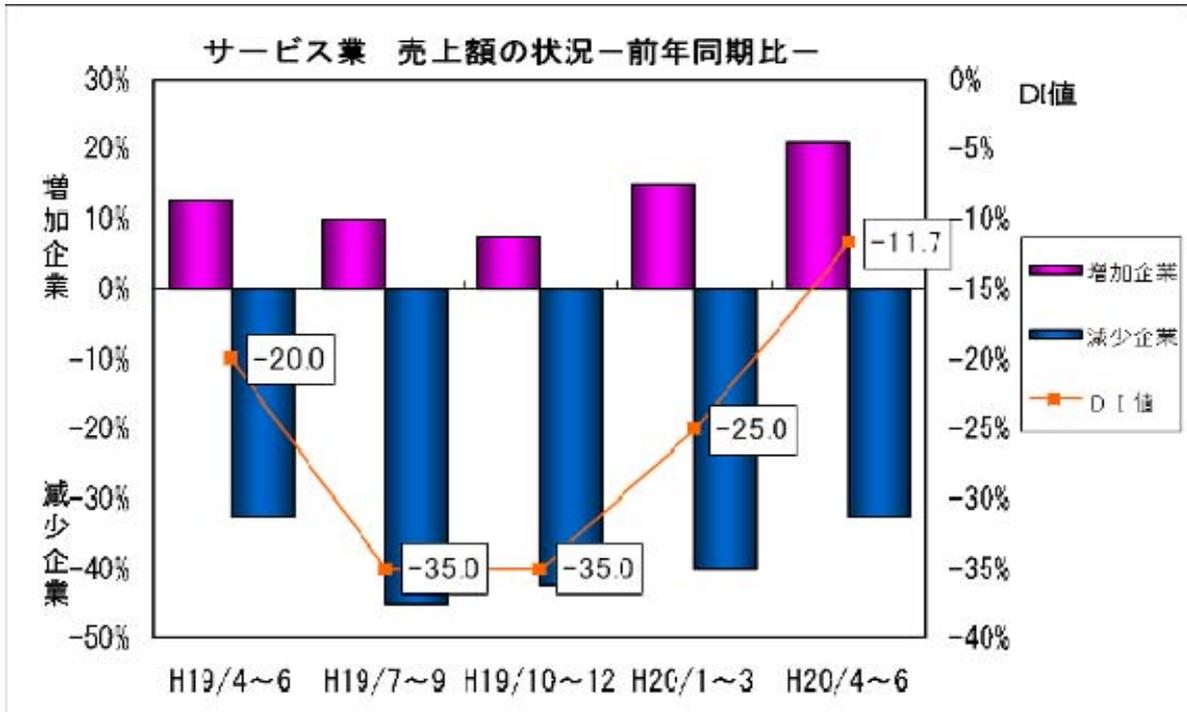
	前々期 (19年10月~12月)	前期(A) (20年1月~3月)	今期(B) (20年4月~6月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上(収入)額	▲35.0	▲25.0	▲11.7	13.3	▲27.9
客単価	▲25.0	▲17.5	▲9.3	8.2	▲9.3
材料等仕入単価	43.6	52.5	50.0	▲2.5	57.1
採算(経常利益)	▲45.0	▲47.5	▲30.2	▲17.3	▲42.8
資金繰り	▲27.5	▲23.1	▲16.2	▲6.9	▲23.3



(2) 主要項目の概況

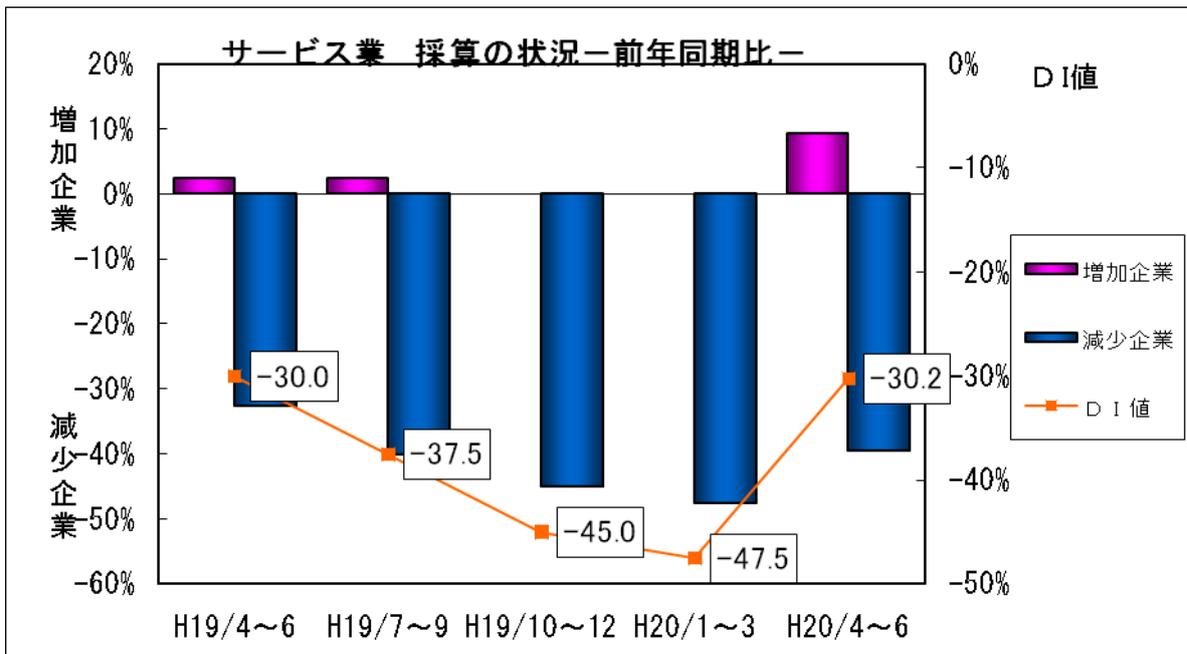
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額DI値は、マイナス 11.7。前期のマイナス 25.0 から 13.3 ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス 27.9 と再び大幅な悪化の見込み。



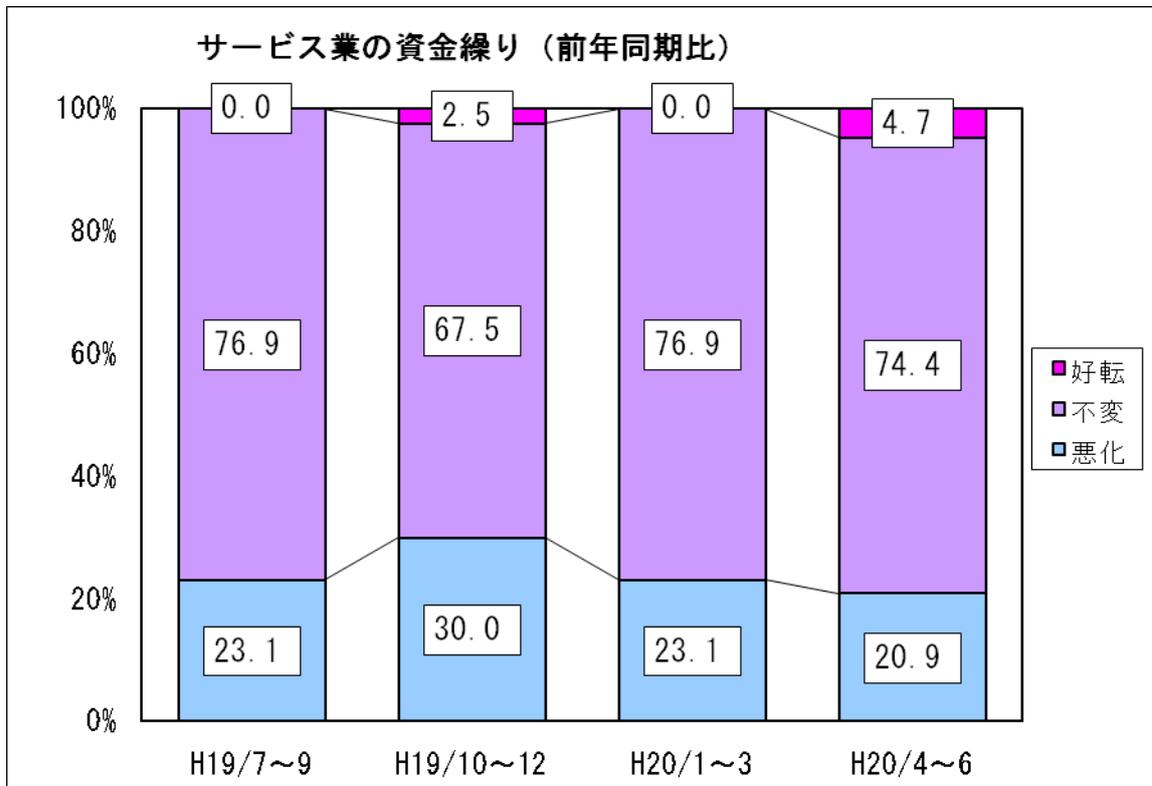
②採算（前年同期比）

今期の採算DI値は、マイナス 30.2。前期のマイナス 47.5 から 17.3 ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス 42.8 と再び大幅に悪化する見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 16.2。前期のマイナス 23.1 から 6.9 ポイント上昇、
小幅な回復。来期見通しはマイナス 23.3 と再び小幅に悪化の見込み。

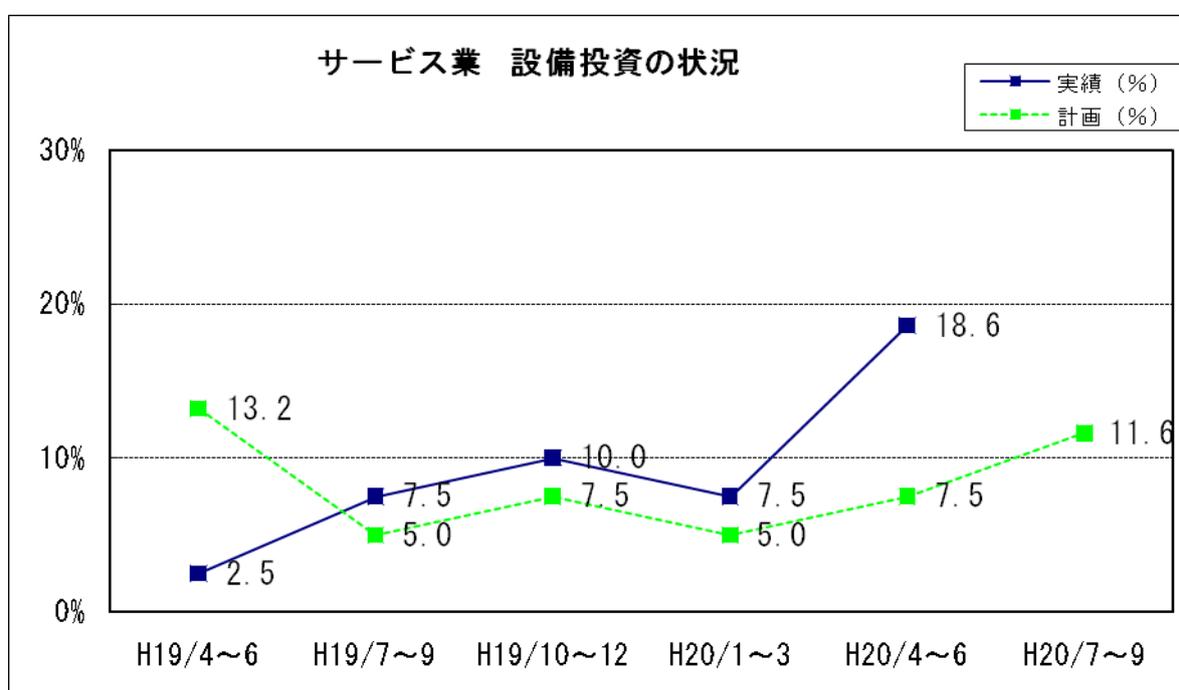


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	サービ ス	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数) (%)	3 7.5	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	37 92.5
今期実施 (実数) (%)	8 18.6	0 0.0	1 12.5	2 25.0	3 37.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	35 81.4
来期計画 (実数) (%)	5 11.6	0 0.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	38 88.4

今期設備投資を実施した企業は8社（18.6%）。前期（平成20年1～3月期）の実施企業3社（7.5%）より5社増加。来期は5社（11.6%）が、建物、サービス、車両・運搬具、付帯設備、OA機器、その他への投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、
 「材料等仕入単価の上昇」 (前期35%→今期53%)
 「需要の停滞」 (前期43%→今期50%)
 「利用者ニーズの変化」 (前期44%→今期38%)
 となっている。

